

## 令和5年度花巻市当初予算（案）の概要 ～ 子どもの成長とともに創る、未来のはなまきを確かなものに ～

花巻市の令和5年度当初予算（案）は「子どもの成長とともに創る、未来のはなまきを確かなものに」を方針として、「子育て・ひとづくりのまちづくり」を中心に「安心暮らしのまちづくり」「活力に満ちたまちづくり」を柱として編成しました。

歳入歳出予算総額は537億9,116万円、令和4年度5月補正予算後と比較して35億1,858万円の増（7.0%増）※となります。

主な事業の内容は下記のとおりとなります。

※令和4年度当初予算は骨格予算編成であったことから、肉付け予算となる5月補正後予算との比較としています。

### 《子育て・ひとづくりのまちづくり》

#### ▶医療費等支援

子どもの医療費助成については、子育て世帯の経済的負担を軽減するためこれまでも拡充に取り組んでまいりましたが、さらなる拡充を図るため、令和5年8月より小学生、中学生及び高校生等の医療費助成の認定基準となる所得制限を撤廃します。

#### ・小学生から高校生等までの医療費助成の所得制限撤廃（新規）：92,000千円

令和5年度は8月から小学生・中学生・高校生等の医療費助成の認定基準となる所得制限を撤廃します。これにより市内の高校生等までの全ての子どもが医療費助成の対象となります。

#### ・妊産婦に対する医療費助成の所得制限撤廃に向けた準備（新規）：646千円

令和6年度中の所得制限撤廃に向けたシステム改修等準備経費を計上し、関係機関との調整を進めながら早期の実現を目指します。

#### ▶周産期医療・妊産婦支援

市民が安心してお産することができる環境を維持確保するため、妊産婦への交通費支援などを継続して行うほか、市内産科医療機関へ就職する医師・助産師・看護師に対する支援と、産科医療機関が人材紹介事業者から紹介を受けて医師を雇用した場合に要する経費について支援を行っているところであり、また、岩手県内市町村とともに、市町村医師養成事業により産婦人科医師・小児科医師を含め、医師の養成に取り組んでいるところですが、令和5年度においてもこれら事業を継続することにより、岩手県立中部病院を含めて市内の周産期医療の維持確保に努めていきます。

また、妊娠前から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩みに円滑に対応していくため、これまで市内のNPO法人に委託して行ってきた「産後ケア事業」、「産前・産後サポート事業」を継続し、母子の心身の健康をサポートします。さらに、将来の宿泊を伴うサービスの実現に向けて、同法人とともに先進地視察を行い、その結果を踏まえて、宿泊サービスをはじめ、産後ケアサービスの充実に向け引き続き協議を重ねてまいります。

#### ・宿泊サービス実現に向けた先進地視察（新規）：1,288千円

#### ・産後ケア事業、産前・産後サポート事業（継続）：23,561千円

#### ・妊産婦への交通費支援（拡充）：2,400千円

ハイリスク出産以外の妊産婦に対して行っていたタクシー料金補助について、ハイリスク出産に該当する妊産婦と同様に、タクシー以外の交通手段（バス、自家用車等）についても補助対象とします。また、「入院」または「近隣の宿泊施設に待機宿泊」する場合に要する経費に対しても補助を行います。

#### ・周産期医療（医師・助産師・看護師の確保）支援（継続）：13,027千円

## ▶保育環境等支援

市内保育については、保育士不足が要因で、令和4年度当初から待機児童が発生していることから、市内私立保育園等の保育士等に対する再就職支援金貸付や、市内保育施設の魅力紹介や就職相談を行う「保育のおしごとフェア」、私立保育園において長期休み期間中の保育士養成校の学生を受け入れた場合の費用を支援する「保育インターンシップ事業補助金」を継続実施し、さらなる保育士確保に努めます。

また、令和5年度におきましては、県の補助制度を活用しながら、3歳児未満で第2子以降となる児童の保育料の無償化や、在宅育児世帯への支援を実施するとともに、3歳児以上の児童を対象に保育施設利用世帯から徴収している副食費のうち、第3子以降の児童に要する副食費の全額を市独自に支援するなど、今まで以上に充実した子育て支援策に取り組みます。

さらに、老朽化などの課題を抱える石鳥谷善隣館保育園と石鳥谷保育園について、両園の統合を前提とした新たな幼保連携型認定こども園の整備に対する補助のほか、事業が円滑に進むよう支援します。

・幼保連携型認定こども園施設整備補助（新規）：303,022千円

・3歳児未満で第2子以降となる児童の保育料無償化（新規）：58,003千円

県の補助制度を活用し、3歳児未満で第2子以降となる児童の保育料を無償化します。

・在宅育児支援事業補助（新規）：34,629千円

県の補助制度を活用し、保育所等を利用しない生後2か月から3歳未満の第2子以降の子どもを養育する世帯（育児休業取得世帯を除く）を支援します。

・第3子以降副食費等負担軽減事業補助（拡充）：13,144千円

3歳児以上の児童を対象に保育施設利用世帯から徴収している副食費のうち、第3子以降の児童に要する副食費の全額を市独自に支援します。

## ▶ひとづくり

・花巻図書館整備事業（継続）：1,553千円

新花巻図書館整備基本計画試案検討会議での議論を踏まえ、今後の進め方を検討します。

## 《安心暮らしのまちづくり》

若年者から高齢者まで、市民が安心して暮らせるまちづくりを進めます。交通手段を持たない市民の交通手段と利便性の確保、生活基盤の充実、安心して生活ができる住宅の確保、そしてすべての人が住み慣れた地域で生活できる環境を整えていきます。

## ▶生活支援

・結婚新生活支援事業費補助金（拡充）：15,000千円

所得要件（現行400万円未満）を500万円未満に緩和します。

・医療的ケア児等コーディネーターの配置（新規）：4,048千円

基幹相談支援センターに新たに医療的ケア児等コーディネーターを配置します。

## ▶住環境の向上

・花巻市子育て世帯住宅取得奨励金（拡充）：39,000千円

・花巻市定住促進住宅取得等補助金（拡充）：26,000千円

いずれも補助対象要件を現行の「中学生以下の子供と同居する世帯」から「18歳未満の子供と同居する世帯」に要件を拡充します。

※18歳未満の子供とは、18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある者

・民間宅地開発支援事業（継続）：11,000千円

優良な宅地開発を実施した事業者に対し、宅地開発に係る経費の一部を補助します。

・空家等解体活用補助金（継続）：8,000千円

空家、空き店舗を解体し住宅等を新築する場合にその費用の一部を補助します。

・若者世代等の空き家取得に対する奨励金（継続）：3,000千円

空き家バンクに登録された空き家を取得及び改修し、居住した39歳以下の若者世代又は県外からの移住者を支援します。

## ▶公共交通の維持

### ・岩手医科大学付属病院利用者連絡バスの運行（継続）：9, 215千円

花巻駅、石鳥谷駅と岩手医科大学付属病院との連絡シャトルバスを運行します。

### ・公共交通確保対策事業（継続）：172, 482千円

予約乗合バスの運行、市街地循環バス、大迫・花巻地域間連絡バス、県立中部病院連絡バス、大迫・医大・盛岡赤十字病院利用者連絡バス、民間路線バスなどへの補助を行います。

また、路線バス大迫石鳥谷線を利用する高校生へ通学定期券購入費に対する補助を行います。

## 《活力に満ちたまちづくり》

地場産業の育成・支援や安定した雇用の場の確保、各地域での特色ある活動やイベントなどの実施への支援、学習やスポーツしやすい環境を整え、はなまきに住みたい、住み続けたいと感じる活力あるまちづくりを進めます。

## ▶産業振興

### ・花南地区産業団地整備（継続）：708, 346千円

令和5年度以降は、埋蔵文化財の発掘調査や各種申請手続きと造成にかかる各種工事などを経て、現在のところ、令和7年度からの分譲開始を目指していますが、企業からの引き合いにお応えできるよう、1日も早い分譲を目指すとともに、残る約21ヘクタールの整備につきましても、需要に応じて速やかな整備・分譲が可能となるよう、各種設計や調査などにも取り組んでまいります。

なお、令和5年度から「産業団地事業特別会計」を新たに設置し、花南地区の産業団地の本格的な整備に対応するほか、将来的には他地域への産業団地の整備の検討など、当該特別会計の新規設置を通じ、中長期的な視野に立った取り組みも進めます。

### ・花巻スマートインターチェンジ整備事業（継続）：63, 805千円 ：繰越分 20, 000千円

早期の供用開始を目指し引き続き工事を進めます。

繰越分：アクセス道路の道路標識・照明工事分

### ・民間産業用地整備促進支援（新規）：60, 000千円

花巻市民間産業用地整備促進奨励事業補助金に基づき、市内で民間事業者が行う産業用地の整備に要する経費に対し補助を行います。

### ・農畜産物販路拡大支援事業（新規）：3, 825千円

気象情報や市場動向、補助事業情報などのショートメールシステムを利用した情報発信、ふるさと納税等のECサイト活用に関する研修会の開催、花巻農産物特設サイトの開設を行います。

### ・農業用ロボット技術・ICT機器導入支援補助（拡充）：15, 000千円

農作業の省力化、コスト低減、生育状況均一化を目的としたロボット技術・ICT機器の導入（補助対象経費を拡大）、農業用ドローンの技能認定取得にかかる費用を補助します。

## ▶まちの活性化

### ・道の駅「石鳥谷」施設再編事業（継続）：5, 398千円

道の駅指定から30周年を迎える令和5年7月にリニューアルオープンする予定で、記念式典・記念イベントを開催します。また、ルンビニーアート・施設案内表示を設置します。

### ・JR花巻駅東西自由通路等整備事業（新規）：3, 178千円

花巻駅東西自由通路整備基本設計、西口駅前広場整備に伴う用地測量の実施、有識者会議及びデザイン検討ワークショップを開催します。

### ・花巻中央広場周辺の公共空間を活用した社会実験（新規）：5, 775千円

花巻中央広場周辺（広場、道路、大堰川プロムナード、旧まちなかビジターセンター前等）の公共空間を活用した社会実験等を行います。

### ・「日本ワインフェスティバル花巻大迫2023」を大迫中心部で開催（継続）：10, 286千円

日本各地のワイナリーをお招きして、5月27日、28日に有料試飲会を開催します。

▶ **記念事業**

・ **国際姉妹都市提携周年記念事業（米国ホットスプリングス市30周年記念）：10,560千円**  
ホットスプリングス市30周年記念式典、同市への市民ツアーを開催します。

・ **宮沢賢治没後90年事業：2,936千円**  
文化会館で宮沢賢治没後90年特別企画としてチェロリサイタルを実施します。

▶ **新型コロナウイルス感染症対策・物価高騰対策**

・ **新型コロナウイルス感染症対策、物価高騰対策（継続）：265,123千円**

事業者に対する地代家賃補助、Pay Payポイント付与キャンペーン、はなまき小判事業支援のほか、畜産農家に対して飼料購入費の支援などを引き続き実施します。

・ **新型コロナウイルスワクチン接種事業：525,549千円**  
ワクチン接種体制に係る国の方針が決まり次第、速やかに対応します。

# 令和5年度花巻市予算案のポイント

過去最大

## 一般会計当初予算総額

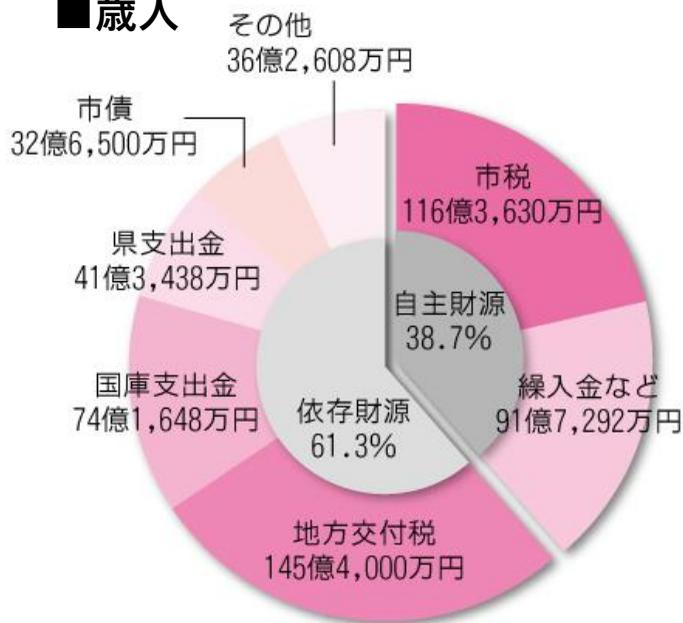
# 537億9,116万円

〔前年度比35億1,858万円増（7.0%増）〕

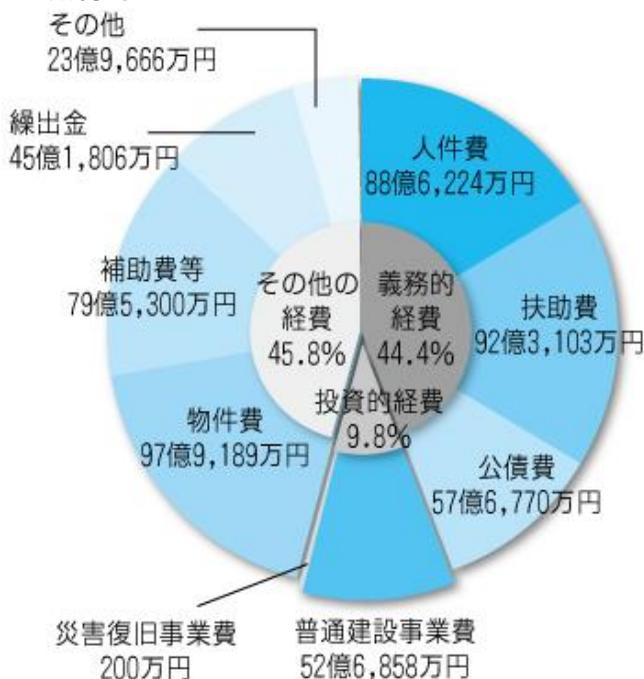
※令和4年度当初予算は骨格予算であったことから、肉付け予算となる5月補正後予算との比較としています（以降、前年度予算比較においては、すべて前年度5月補正後予算との比較としています）

## 歳入・歳出内訳

### ■歳入



### ■歳出



### ■前年度から増額となった主な要因

総額537億9,116万円のうち、物件費が97億9,189万円で前年度比6億2,419万円の増、補助費が79億5,300万円で前年度比8億769万円の増となっています。**ふるさと納税の寄付に対する事務経費や返礼品**で5億7,820万円の増を計上していることや、**橋梁の解体工事に係る負担金**3億920万円の計上、**電気料などの光熱費の高騰**が主な要因です。

なお、その他の経費全体で26億4,499万円の大幅増となっており、物件費や補助費等のほか出資金や繰出金も増えているのが要因であります。新設する**産業団地事業特別会計への繰出金**で7億835万円、**下水道事業会計へ繰り出す出資金及び補助金**が3億6,365万円増加したことによるものです。

また、目的別では教育費が59億7,282万円で、前年度比11億6,600万円の増となっています。主な要因として、桜台小学校の長寿命化改良工事など小学校施設維持事業で4億1,592万円の増を計上したことが挙げられます。また、民生費は157億1,526万円で、前年度比6億3,595万円の増となっています。主な要因として、幼保連携型認定こども園施設整備への補助で3億302万円が増となることなどが挙げられます。

〔歳入・歳出の前年度比較等の詳細は資料編1～5ページをご覧ください〕

## ■実質的な予算規模

単位：千円

区分	予算額	財源内訳				
		国庫 支出金	県 支出金	地方債 (* )	その他	一般 財源
R 4 補正で 前倒し計上	228,415	115,910	0	91,000	0	21,505
R 5 当初 予算計上	53,791,155	7,361,284	4,134,380	3,020,500	6,065,195	33,209,796
合計	<b>54,019,570</b>	7,477,194	4,134,380	3,111,500	6,065,195	33,231,301

\* ...臨時財政対策債は一般財源に含まれる（R 5 臨時財政対策債：244,500千円）

国の令和4年度補正予算において、本市に対する国庫補助金の配分の通知をいただいた小学校や中学校の施設維持事業、花巻スマートインターチェンジ整備事業などの7事業、総額2億2,841万円については、令和5年度当初予算ではなく、令和4年度補正予算（第14号）へ前倒しして予算措置しており、令和5年度予算と一体で事業を実施します。

これにより、令和5年度一般会計当初予算と令和4年度に前倒しを行う事業費を合わせた**令和5年度予算の実質的な予算規模は、540億1,957万円**となり、前年度の実質的な予算規模（令和4年度5月補正後予算と令和3年度に前倒しを行った事業費を合わせた508億5,235万円）と比較して31億6,722万円（6.2%）の増となります。

## ■市債の発行について

**市債の発行額は32億6,500万円**の見込みで、前年度比2億430万円の増となります。そのうち、臨時財政対策債（国が地方に交付すべき交付税財源が不足した場合に、その代替財源として後年度に交付税として償還額が全額措置されるものの自治体が市債の発行により交付税財源不足額を調達するもの）は2億4,450万円で、前年度比で3億1,490万円の減となります。

臨時財政対策債を除く市債の発行額は30億2,050万円となりますが、前年度と比較すると5億1,920万円の増となります。

## ■市債の発行残高について

令和6年3月末における当市の市債発行残高は、現時点において526億9,993万円となり、本年3月末見込額対比23億3,029万円の減になると見込まれます。

市債の発行については、合併特例債、過疎債、辺地債をはじめ、緊急自然災害防止対策事業債、緊急防災・減災事業債を中心に活用します。

本予算においては、国からの地方交付税を償還財源とする金額及び民間企業からの償還金額を財源として返済される金額を除き、**市独自の財源により返済する必要のある市債の実質負担額残高は、令和6年3月末現在で139億4,137万円**となる見込みであり、本年3月定例会に提案予定の令和4年度補正予算案（第14号）計上後の令和4年度予算において想定される本年3月末現在の実質負担額140億8,230万円と比べて1億4,093万円の減となる見込みです。